

**最新号で通巻 1200 号に！**  
**水戸岡鋭治氏デザインの表紙と新ロゴで『JTB 時刻表』が新章へ**  
2025 年 12 月 19 日(金)発売

JTB グループで旅行・ライフスタイル情報を提供する株式会社 JTB パブリッシング（東京都江東区、代表取締役 社長執行役員：盛崎宏行）が発行する『JTB 時刻表』は、2025 年 12 月 19 日(金)発売の 2026 年 1 月号で通巻 1200 号を迎えます。記念号となる本号では、数々の人気観光列車などのデザインを手掛ける水戸岡鋭治さんによる描き下ろしイラストが表紙を飾ります。また、創刊 100 周年と通巻 1200 号の節目に合わせ、37 年親しまれてきた誌名ロゴをリニューアル。2025 年 12 月 6 日(土)に行われた「JTB 旅行文化講演会」では、発売に先駆けて 1200 号記念表紙と新しい誌名ロゴを初公開しました。



**描き下ろしイラスト “夢の列車” 新しい誌名ロゴに込められた想い**

創刊 100 周年と通巻 1200 号の重なる記念号『JTB 時刻表 2026 年 1 月号』。表紙には、JR 九州の「ななつ星 in 九州」をはじめ、全国の観光列車や特急のデザインを手掛けてきた水戸岡鋭治さんが描く “夢の列車” を描き下ろした特別イラストが掲載されます。また、記念すべき節目のタイミングに、同じく 37 年続いた誌名ロゴを水戸岡さんが “Re デザイン”。決定にあたっては「JTB 時刻表ファン倶楽部」会員を対象に投票も実施し、愛読者の声も反映されたデザインとなりました。この他、巻頭記事では水戸岡さんのアトリエや、メディア初潜入の “チーム水戸岡” の家具工房の様子を特集しています。



▲第19代編集長の梶原美礼（左）と1200号記念号の表紙をデザインしたと水戸岡鋭治さん（右）

●水戸岡鋭治さん：表紙のイラストやロゴに込めた思い

表紙には以前からずっと温めていた“夢の列車”を描きました。実現するには技術的に難しいものも、敢えて気にせず盛り込んでいます。老若男女が集う賑やかな列車です。

『JTB時刻表』は長年の読者も多い。ロゴについては、「JTB時刻表だけは変わらないでほしい」と願う読者も多いだろうと考え、そのなかで“どう変えていくのか”という点をとても悩みました。現在のロゴを新しいデザインに変えると慣れ親しんだ『JTB時刻表』のイメージが変わるので今回は“変え過ぎず、進化すること”を第1とし、「Re（再び）デザイン」を基本に新しい表現に至りました。

●『JTB時刻表』第19代 梶原美礼編集長：101年目への新たなデザイン

鉄道車両に新しいデザインを取り入れて来られた鉄道デザインの第一人者である水戸岡鋭治さんに、101年目を迎える新たなロゴとイラストをお願いしました。「未来に向かって走行する列車」を描いていただきたいとリクエストしましたが、明るく、とても楽しそうな雰囲気の列車で、こんな列車で旅をしたいと思うイラストで感動いたしました。今後、この「JTB時刻表号」が日本全国を走行する未来に向かって、JTB時刻表も101年目を出発したいと思います。

『JTB時刻表』2026年1月号

定価：1,500円（税込）

仕様：B5変形判／1088ページ

発行日：2025年12月19日（金）

発行：JTBパブリッシング

販売：全国書店、ネット書店

Amazon：<https://www.amazon.co.jp/dp/B0G3BJ1ZCK/>

創刊 100 年の軌跡を一冊に。『JTB 時刻表 100 年誌』も好評予約受付中！



大正末期の 1925 年に『汽車時間表』として創刊し、2025 年 4 月号で創刊 100 周年を迎えたことを記念し、2025 年 12 月 16 日(火)に『JTB 時刻表 100 年誌』を発売します。制作の舞台裏や、関係者・愛読者の声も収録し、単なる交通案内を超えた「文化としての時刻表」の魅力を伝える内容となっています。時刻表・鉄道ファンはもちろん、昭和・平成・令和の日本を振り返りたいすべての方に贈る、時刻表から読み解く 100 年の記録です。

『JTB 時刻表 100 年誌』

編集：JTB 時刻表 100 年誌制作委員会

定価：7,700 円（税込）

仕様：B5 判／304 ページ

発売日：2025 年 12 月 16 日(火)

発行：JTB パブリッシング

販売：全国書店、ネット書店

Amazon：<https://x.gd/wHbDK>

＜お問い合わせ先＞

JTBパブリッシング ブランド戦略室 メール：pr-team@rurubu.ne.jp